

中社



天岩屋に隠れた天照大神
にお出まし願うため、天岩戸開
神楽を考えられた智慧の神様・
天八意思兼命(あめのやこころ
おもいかねのみこと)を祀りま
す。三本杉や古木に囲まれ厳か
な雰囲気ながら、学業成就・開
運、家内安全を祈ります。

九頭龍社

奥社本殿左にあり戸隠の
地主神として信仰され続けてい
る九頭龍大神(すりゅうのおお
かみ)を祀ります。命の源である
水を司る神に感謝し、水の恵み、
五穀豊穡、心願成就を祈ります。



奥社



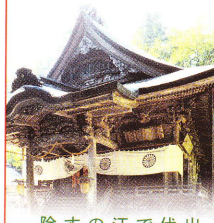
戸隠神社の本社。天の岩
戸を開き戸隠へと投げた天
手力雄命(あめのたじからお
のみこと)を祀ります。五穀
豊穡、開運、心願成就を祈
ります。参道は半里(約2.5)
中程に茅葺の赤い随神門、そ
の先は今だ木勢衰えない杉
の巨木が続く。長い信仰の
足跡を感じさせます。

火之御子社

天照大神に天岩屋より
お出ましいたいたくために、天岩
屋の前で、艶やかな舞いを舞わ
れた天鈿女命(あめのうずめのみ
こと)を祀ります。世の中が明る
くなること、また舞楽芸能の上達
縁結び、火防、開運を祈ります。



宝光社



二七〇余段の石段を登り
出会う荘厳な社殿。神仏習合時
代の面影が強く残る寺院式建築
で、康平元年(一〇五八)創建、
江戸末期改築。天表春命(あめ
のうわはるのみこと)を祀りま
す。商工技芸の隆盛、安産、厄
除け、家内安全を祈ります。

戸隠神社 五社参拝

古事記・日本書紀に次ぐ古典『旧事紀』によると、第八代
孝元天皇五年(前二一〇)に、天手力雄命が奥社の地に鎮まら
れました。その後、康平元年(一〇五八)宝光社に、さらに三
十年を経て中社に現在の御祭神が分祀奉斎されました。また、
平安時代にはすでに天下に知られた修験の名所となっていたこ
とが『梁塵秘抄』(治承二年一二七八)に記されています。



神札

お祓いとご祈禱をうけた神札は、
大神様の神霊が鎮まるものです。
家では明るく清浄な、南または東
向きの高い場所にお祀りします。
日々神恩への感謝の気持をもつ
て、礼拝につとめましょう。
一年を区切りとして感謝の念を
込めてお焚き上げし、新たな神札
で神霊より新しいお力を頂きます。

御守



おまもり
太古の昔より神霊のお力
をお分け頂き、身につける
ものとして御守があります。
私たちが一人ひとり、だれ
もが大神様のお陰をお分け
頂いていることを、この御
守により日々想い起こし、
お祈りください。

●火之御子社芸能上達守護神札
●御祭神(天手力雄命)御守
●御祭神(天鈿女命)御守
●御祭神(天岩戸開神)御守
●御祭神(天岩戸開神)御守
●御祭神(天岩戸開神)御守

祈願串



戸隠神社

戸隠神社 中社社務所 〒381-0401 長野市戸隠中社
電話 〇二六・二五四・二〇〇一
<http://www.togakushi-jinja.jp>

戸隠神社 五社参拝

●中社から
 「奥社」入口まで
 〓徒歩約20分・車5分
 ●奥社入口から奥社まで
 〓徒歩約30分(車不可)

●中社から
 「宝光社」まで
 〓徒歩約20分(神道かんみち)
 〓車5分



戸隠神社 奥社
 戸隠神社 九頭龍社

戸隠神社 中社

戸隠神社 宝光社

戸隠神社 火之御子社

●宝光社から
 「火之御子社」まで
 〓徒歩約15分
 「中社」まで
 〓徒歩約20分(神道かんみち)
 〓車3分

※御朱印は、奥社・中社・宝光社で。